静岡新聞で学ぼう

Newspaper in Education

静岡新聞

避難所にプライベート空間確保

段ボールハウス 焼津市導入へ

27カ所に54基配備

段ボールハウスを組み立てる小学生ら＝焼津市立港中

焼津市は大規模災害時の避難所用に、段ボールハウスの簡易キットを導入する。プライベート空間を確保し、避難生活のストレス軽減に役立てる。28日、市立港中体育館で組み立て訓練を行った。

紙管の骨組みと段ボールの壁を組み合わせ縦2・7㍍、横1・6㍍、高さ2㍍ほどの空間を確保する。アートハウス社（神奈川県）の商品「カカポ」で、市は4月中に学校体育館など27カ所の指定避難所に2基ずつ計54基を配備する予定。

訓練には地元の港第23自主防災会役員と港小児童ら計20人が参加し、1基ずつ組み立てた。紙管をプラスチック製のジョイントでつなぎ、間に段ボールをはめこんだ。自主防は約20分、児童らは市職員の支援を受けて約30分で完成させた。

港小5年生磯部崚翔君は中に入り「暖かくて落ち着く」と話した。自主防の長谷川力也防災委員長(66)は「少しでも避難生活のストレス緩和につながれば」と期待した。

市の担当者は「女性の更衣室、授乳スペースなど、それぞれの自主防災会で用途を決めてほしい」と話した。（焼津支局・尾原宗也）

2019年3月29日
朝刊

① 「段ボールハウス」は、どのくらいの時間で完成させることができるか。記事から読み取って書きなさい。

[　　]

② 「段ボールハウス」はどのような時に使うものか。記事の最初の7行（これをリード文と言います）から見つけ、6字で書きなさい。

③ 新聞記事は「見出し」を見ればおよその内容がわかるように書かれている。記事中の2つの見出し（「避難所にプライベート空間確保」と「段ボールハウス 焼津市導入へ」）を使って、記事の内容を表す文を45字以内でつくりなさい（「、。」など句読点を含む）。
注意：「見出し」をそのままの形で使わなくてもよい。

年　　組　　名前

作問者：NIEアドバイザー　矢沢 和宏（焼津市立豊田中学校 校長）（小学校高学年、中学校／国語・総合）